

■瑞若会から奨学金支給

毎年、全学年の全専攻学生を対象とし、成績優秀者に瑞若会奨学金を交付しています。2018年度は42名に支給しました。

■瑞若会から助成金支給

学部学生が国内で開催される全国規模の学会やこれに準ずる学会、及び国際学会で発表する場合、助成金を支給します。交通費と宿泊費の実費として、当該年度において1人1回3万円を上限として支給されます。

■入学奨励金の制度について

卒業生・在校生の兄弟姉妹並びに、卒業生のお子様・お孫様が愛知工業大学へ入学した場合、入学後の申請で入学奨励金が支給されます。

■寄付金を受け付けています

名古屋電気学園では、寄付を受け付けております。寄付の仕方や寄付をしたことによる減免税等のメリットもありますので、詳しくは学園のホームページをご覧ください。
<http://www.nagoyadenki.jp/support/>

■お便りお待ちしております

会報誌「みずわか」には、同窓生の皆さんの近況、同窓会の報告や案内、連絡先などを掲載しています。

文章に写真を添えて、下記の同窓会事務局までお送りください。

掲載させていただいた方には粗品を差し上げます。

表紙写真について

IT関連施設やキャリアセンターが入る八草キャンパス1号館。2階の渡り廊下は白い屋根が印象的です。



自由ヶ丘キャンパス別館が完成!

2018年9月10日に自由ヶ丘キャンパス別館が完成し、同13日にテープカット式が行われました。建物は、鉄筋コンクリート造3階建て、延べ床面積1189.11平方メートルです。1階にはキャリアセンターや学生相談

コーナー、共同学習コーナーがあり、2階には多目的室(アクティブラーニング)、3階にはゼミ室などが設けられ、本館とは渡り廊下でつながっています。同時に屋根付きの駐車場も整備されました。



本館の南西に完成した別館



1階のキャリアセンター



2階の多目的室

レーシングカート部が快挙! 学園と豊田市から表彰

「第22回全国学生カート選手権」(2017年8月開催)において、レーシングカート部の岡崎幹(おかざきもと)選手(機械創造工学専攻3年)、夏目南斗(なつめみなと)選手(機械工学専攻3年)、角谷昌紀(すみやまさき)選手(機械工学専攻3年)が、それぞれ別部門でトップとなり総合優勝を成し遂げました。レーシングカート部と3選手は活躍を称えられ、2018年2月に学園から表彰されました。

さらにポルトガルで昨年11月に開催されたレーシングカートの世界大会「ROTAX MAX チャレンジシリーズ グランドファイナル第18回大会」では、水野皓稀(みずのこうき)選手(機械創造工学専攻2年)が7位に入り、先の3選手とともに、豊田市制67周年記念式典(2018年3月3日)で豊田市より表彰を受けました。



模倣
全国学生カート選手権での



レーシングカート部の部員



水野(左上)、夏目(右上)、
角谷(左下)、岡崎(右下)の
4選手

愛知工業大学同窓会支部結成のために必要とされる手続き

1. 支部結成発起人(氏名、卒業年、学科)
 2. 支部同窓生氏名(氏名、卒業年、学科、連絡先等)
 3. 支部則原案(見本を作成していますので、参考にしてください)
 4. 支部本部となる連絡場所…連絡先、住所、電話番号記入
 5. 正式に支部として承認されましたら、支部則に基づき支部長、副支部長、会計その他の役員を本部に届ける
- ※職場支部結成については、10名以上の同窓生が在籍していること

会員の皆様へ

ご住所や勤務先などの変更等がありましたらお知らせください。また、地域での同窓会活動の状況など皆様からの情報や、同窓会および会報誌『みずわか』に対するご意見も、お待ちしております。
※下記のメールまたはFAXでご連絡ください。

同窓会・会報誌「みずわか」に関するお問い合わせ、申し込み、ご連絡は **愛知工業大学同窓会事務局** まで

〒470-0392 豊田市八草町八千草1247

TEL 0565-43-1032
月～金 9:00～16:30
FAX 0565-43-1031

e-mail mizuwaka@aitech.ac.jp

※ご登録いただいた個人情報は同窓会に関する案内および大学から依頼された案内の発送のみに使わせていただき、本人の承諾なく第三者に開示することはありません。なお、個人情報の取扱いについては、HPIに明記した瑞若会個人情報保護ポリシーに準じます。

愛知工業大学同窓会誌(瑞若会会報) MIZUWAKA(みずわか)

発行日: 2018年12月
発行: 愛知工業大学同窓会
〒470-0392 豊田市八草町八千草1247
Tel.0565-43-1032 Fax.0565-43-1031
発行責任者: 北川 一敬

編集: MIZUWAKA Vol.51 編集委員会
宇田 秀樹、奥野 佳宏、葛谷 新一郎、倉橋 奨、五島 敬史郎、後藤 時政、佐藤 暢也、清家 善之、立枕 孝之、津田 紀生、西 裕之、野澤 英希、平松 誠治(チーフ)、福田 雄斗、前田 賢、山田 章、山田 千代美(事務局)、横井 浩治、米坂 篤人
印刷: 株式会社 大東社 〒494-0003 一宮市三条字大平27 Tel.0586-62-1168 Fax.0586-62-1751

<http://www.ait.ac.jp/>

MIZUWAKA



瑞若会会報
Vol.51

- 特集 >>> 後藤 淳 総長を偲んで ~ご功績と追悼文~
- 特集 >>> 第22回瑞若会定期総会開催 各地域支部からのコメント紹介



後藤 淳 総長を偲んで

後藤淳総長が平成30年6月1日に逝去されました。同7月3日には、学園関係者をはじめ約2300人が参列する中、学園葬がしめやかに執り行われました。

生前は同窓会にも多大なご尽力を賜りまして深く感謝いたしますとともに、謹んで哀悼の意を表し、ご功績を偲びます。



日泰寺で執り行われた学園葬



学園内外から訪れた多くの参列者

略 歴

昭和 2年(1927)長野県須坂市に生まれる
 昭和25年(1950)名古屋大学工学部電気学科に入学
 昭和31年(1956)同大学大学院を修了
 昭和32年(1957)学校法人名古屋電気学園に勤務
 昭和47年(1972)学校法人名古屋電気学園 理事長 愛知工業大学 学長
 平成16年(2004)学校法人名古屋電気学園 理事長・総長
 平成28年(2016)学校法人名古屋電気学園 学園長・総長

主な団体役職歴

昭和51年(1976)アジア卓球連合(ATTU) 会長
 昭和57年(1982)在日本セイシエル共和国 名誉領事
 昭和58年(1983)日本私立大学協会 理事
 昭和63年(1988)愛知県私立大学協会 会長
 平成 4年(1992)愛知県私学総連合会 会長
 平成 8年(1996)愛知県日本中国友好協会 会長
 平成 9年(1997)国際卓球連盟(ITTF) 大陸副会長
 平成11年(1999)愛知県体育協会 会長
 平成13年(2001)アジア卓球連合(ATTU) 終身名誉会長

栄 誉

昭和58年(1983)愛知県知事表彰「教育功労」受賞
 昭和59年(1984)「藍綬褒章」(教育功労) 受章
 平成 3年(1991)中国江蘇省「名誉省民」称号を授与される
 平成 4年(1992)名古屋市長「スポーツ功労賞」受賞
 平成12年(2000)日本工学教育協会「功績賞」受賞
 平成16年(2004)「旭日中綬章」受章
 平成20年(2008)「中日友好使者」称号を授与される
 平成23年(2011)日本体育協会「特別功労」受賞



先代の遺志を継ぎ、中国との交流を深めるべく尽力



昭和47年、先代の急逝により理事長・学長に就任



「藍綬褒章」を受章したときに開かれた祝賀会で挨拶



「旭日中綬章」を授与された秋の叙勲 勲章伝達式にて



愛知県日本中国友好協会会長として「中日友好使者」の名誉称号を授かる



平成24年(2012)に創立100周年を迎えた学校法人名古屋電気学園

後藤 淳 総長ご逝去に寄せて

有川 満泰 (37E)

ありきたりな追悼文を書いても先生が苦笑されるだけだと思います。大学開学直後に名大より乞われておいでになった先生と私達第1回生の交流の思い出をお話したいと思います。満々な実験器具も無い中で大須のアメ横でジャンク品を見つけ喜び合ったこと、登校したら電気工学の実験室が一夜で応用化学の部屋に化けており来年の開設まで我慢してくれと言われたこと、錦の古ばけたスナックで先生と学生が酒を酌み交わしながら将来を語りあったことなど思い出は尽きません。本当に淋しいです。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

若山 茂 (37E)

第1回生39名が卒業して56年になります。訃報に接し、驚くと同時に昭和が急に離れていくように感じました。教科は「交流回路」を担当された先生ですが、課外活動では麻雀・ゴルフが大好きで、お付き合いした卒業生も少なくないと思います。教育・スポーツに貢献され、数々の綬章と称号を得られ、愛知万博では「万博大学」を開講され、万博大学学長として尽力されたことが思い出されます。これらの偉業に対する感謝の気持ちは言葉では表せません。どうか安らかに眠りください。先生！本当にありがとうございました。

第22回「瑞若会定期総会」開催!

プログラム	
支部長会議	13:30~14:50
理事会	15:00~15:50
定期総会	16:15~16:40
瑞若会奨学生証交付式	16:40~16:55
懇親会	17:05~19:00

2018年6月23日(土)に名古屋ガーデンパレスにおいて「瑞若会定期総会」が開催され、およそ200名の参加がありました。

最初に「支部長会議」が行われ、各支部の活動や運営方法などについて意見交換がされました。14時から学科単位の理事会や総会が開催され、「機械学科同窓会理事会」では、昨年の活動や会計の報告とともに新役員の挨拶などがありました。愛知工業大学建築系学科同窓会「不器会」総会では、活動報告などの他、建築学科創立50周年記念行事への支援について議論が行われました。

続いて総会に先立ち開催された「理事会」では、活動報告や役員改選、会長の選任などが行われました。「定期総会」においては、事業報告、決算報告をはじめ、新旧会長

の挨拶などがあり、今年度の活動方針なども報告されました。定期総会に引き続き「瑞若会奨学生証交付式」が行われ、藤本博史会長(59D)より奨学生証が学生達に手渡されました。学生代表からはお礼の挨拶がありました。

会場を移して懇親会が開かれ、2015年より3年間、会長を務めた藤本博史氏をはじめ、新会長の佐藤基氏(57C)や曾我部博之副学長らが挨拶されました。元会長の野崎克己氏(41K)のご発声により献杯が済むと、久しぶりに親交をあたため、なごやかに談笑する姿があちらこちらで見られました。



支部長会議



機械学科同窓会理事会



建築系学科同窓会「不器会」総会



理事会



定期総会



瑞若会奨学生証交付式



学科別テーブル



曾我部副学長挨拶



来賓テーブル

献杯

瑞若会会長と事務局長に新しく就任しました!

60周年に向けて盛り上げる 佐藤 基 新会長(57C)



少子高齢化により学生数は減っており、先生方も様々な工夫や努力をされています。学生の質が問われる中、勉強だけでなく、スポーツや芸術に長けた学生の活躍も、母校に興味をもつきっかけになるのではないのでしょうか。

同窓生は6万名以上いますが、実際に活動をしている人が少ないのは残念です。同窓会の運営にもできるだけ多くの人に関わってほしいと考えています。同窓会に関わることで、仕事上で新たなネットワークができるなど広がりもあります。ぜひ、知り合い同士で誘い合って同窓会に参加していただけたらと思います。

任期中には、60周年に向けての準備も必要です。応用化学科では「応化会」を開催していますが、同様に他も学科単位の同窓会は行われていると思いますので、まずは学科をベースに盛り上げていくのがいいと考えています。皆さんのご参加をお待ちしています。

若い人の参加を促したい

北川 一敬 新事務局長(H2M)



若い人が入りやすいよう、明るく活発な雰囲気にしていきたいと思っています。そのため、「敷居は高くない」「面倒臭いことはない」などと伝えつつ、地道に声をかけていくことが大切だと考えています。卒研生を中心に卒業後10年ぐらいまでの人を対象に声をかけるのがいいのではないかと思います。

また、卒業後3年までは同窓会の参加費に優遇措置を設けるなど、参加しやすい工夫も必要かもしれません。最後に、皆様のご参加をお待ちしております。

瑞若会役員名簿

会長 佐藤 基 57C	副会長 飯吉 僚 46R 松本 壮一郎 46A 加藤 信夫 46D 建部 謙治 48A
会長代理 近藤 高司 48K	桜井 伸彦 56E 伊藤 雅 59K 岩月 栄治 61D 水野 勝教 63R
監事 毛利 隆治 46C 三宅 寛 54E 中村 吉男 57D	理事 落合 鎮康 41E 成田 信裕 41E 川原 雄一 42E 野村 勝美 42E
顧問 有川 満泰 37E 加藤 厚生 37E 若山 茂 37E 大塚 敏雄 38E 小嶋 憲三 40E 稲垣 慎二 40C 太田 修 41E 石川 貴之 41K 岩田 和彦 41K 鈴木 達夫 41K 野崎 克己 41K 大葉 正之 42M 山田 英介 46C 藤本 博史 59D	尾島 仁 46E 藤田 隆 52E 近藤 修司 50R 竹内和歌奈 H16R 松尾 光正 41C 尾之内千夫 45C 青山 裕充 49C 関澤新一郎 H10C 神戸 誠 47M 菅 八三郎 41K 余語 孝文 48K 前田 清二 53K 熊谷 弘 66K 葛谷新一郎 H14K 福井 猛朗 47D 近藤 直樹 60D 山田 真吾 H11D 中野 正 50A 梶田光太郎 52A 熊谷 英美 57A 長谷川幸治 55B 民田 晴也 H4J
事務局長 北川 一敬 H2M	米永 裕司 56R 米坂 篤人 H29EV 安田 伍朗 42C 立木 次郎 46C 楓 美智彦 56C 橋 照泰 43M 中村 明 48M 近藤 恭弘 42K 後神 公一 48K 久保 統義 62K 鮎澤 智美 H7K 河合 壺 42D 辻 文男 48D 後藤 直樹 60D 居村 年男 47A 山田 真吾 H11D 中野 正 50A 梶田光太郎 52A 熊谷 英美 57A 長谷川幸治 55B 民田 晴也 H4J
事務局長次長 石井 成美 58K 宇田 秀樹 55E 津田 紀生 H4R 森島 茂樹 60E 内田 敬久 H7R 奥野 佳宏 H10K	川原 繁富 45E 浦田 竹昭 48E 澤田 文夫 45R 坂本 常豊 59R 木村 好宏 39C 高田 宣章 44C 安島 隆夫 46C 玉置 徳 60C 飯田 穂 45M 木佐貴 保 49M 久富 政俊 45K 大川 博基 49K 奥野 好弘 62K 坂野 慎介 H11K 羽柴 喜彦 43D 玉木 伸秀 49D 川島 道徳 H1D 竹山 明英 49A 小林優貴秀 52A 加藤 満弘 54A 加藤 幸範 55B 袖野 貴義 59B 国立 忠秀 H6J
常任理事 畦地 耕司 37E 中西 保幸 51E 山岸 昭彦 42R 清家 善之 H2R 櫻本 秀樹 54C 大林 猛 43M 太田 英伸 H9M 杉浦 亘 44K 大元 司 55K 松浦 次夫 44D 光成 仁志 48A 佐野 泰之 H6A 下村 光男 H6J	清水 浩二 49E 前田 賢 H13E 岩田 博之 62R 五島敬史郎 H10R 松本 裕一 63C 山田 章 H8M 掛布 毅 41K 立枕 孝之 49K 西 裕之 H11K 小川 喜信 50D 倉橋 奨 H15D 国安院章良 55A 横井 良夫 55B
	田中 秀治 45C 大石 邦仁 47C 太田 勝矢 H1C 柏本 増幸 47M 大澤 和貴 H17M 長江 俊一 46K 佐藤 友泰 51K 下山 幸二 H1K 水谷 聡志 H11K 大野 良蔵 44D 田中 義之 56D 近藤 信彦 H4D 山田 和夫 49A 鳥居 和馬 52A 澤野 美幸 57A 丹羽 利信 55B 石黒 孝 H4J 濱口 幸久 H6J



懇親会には蔵元もかけつけ、「五代目 瑞若」の紹介がされました。今年は、愛知県岡崎市にある合資会社柴田酒造場が仕込んだ山麴純米原酒です。酒母造りと言われる日本古来の造り方で、濃厚で味に深みがあるのが特徴です。
「仕込み水は裏山の井戸からひく超軟水で、のど越しの柔らかな酒ができます。30代の女性杜氏ならではの繊細さも加味され、食中酒にふさわしい酒に仕上がっています」と話す柴田酒造場の小林和賢さん。冷やしても、ぬる燗でも美味しく、赤みその料理や焼き肉にも合うお酒です。

「瑞若」購入先: 名榎屋 東海市横須賀町四ノ割19番地 TEL: 0562-32-0006

オリジナル日本酒
お披露目しました!



支部長を拝命いたしました石川です。関東エリア在住の皆様とより多くのつながりを結んでいけるように先輩、後輩の皆様と一緒に努力してゆく所存です。

事務局長を拝命いたしました久保です。先輩方からも若い方からも刺激をいただき、楽しんで参りたいと存じます。

- 石川 定雄 (57R) 支部長
ishikawa4444@pd6.so-net.ne.jp
- 久保 統義 (62K) 事務局長
kubo@dds.co.jp (勤務先)



石川 定雄



久保 統義



年1回、年齢も職業も様々な会員と楽しい時間を過ごしています。昨年度の第10回総会では、大学側からの近況報告や同窓生による基調講演を行いました。唯一共通しているのは、同じ大学を卒業したということです。皆様も我々と一緒に楽しい時間を過ごしませんか? 下記メールアドレスにご連絡ください。お願いいたします。

- 浦田 竹昭 (48E) 支部長
uradatakeaki@na.net3-tv.net
- 袖野 貴義 (59B) 事務局長
tsodeno@gmail.com



浦田 竹昭



袖野 貴義



ご縁があって瑞若会でつながっている皆さんの出合いの場を設け、日常生活とは違う、年代を超えた交流や体験を味わっていただけることを支部の活動目標としています。皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

- 中西 保幸 (51E) 支部長
yuki-n@ccn5.aitai.ne.jp
- 辻 文男 (48D) 事務局長
tsuji_0501@ccn.aitai.ne.jp



中西 保幸



辻 文男



関西支部では3ヶ月ごとに開く定例会の他、毎年、伝統工芸の本質に触れる見学会や、先端技術を身近に感じられる講演会などを企画しています。案内は電子メールで行っていますので、ご連絡をお待ちしております。

- 藤田 隆 (52E) 支部長
rtty_fujita128@ares.eonet.ne.jp



藤田 隆



毎年、岡山で支部交流会が開催され、父兄懇談会にも参加しています。支部交流会は各地域の持ち回りで開催しています。工業大学ということで場所にもこだわっています。最近では、関西支部や関東支部と一緒に東京スカイツリーと東京タワーの構造比較の見学会へ参加しました。また、地元の鹿野川ダムのトンネル方式の放水路「トンネル洪水吐き」工事や備前焼・備前おさふね刀剣の里の見学会などを実施しました。その後の懇親会は異業種の集まりということもあり、盛り上がりました。輪を広げるために各支部との交流も進めたいと思います。

- 小林 優貴秀 (52A) 支部長
yukihide@apionet.or.jp
- 木佐 貴保 (49M) 事務局長
spsc3nd9@angel.ocn.ne.jp



小林 優貴秀



木佐 貴保



皆さんお元気にお過ごしで何よりです。今年度も昨年度同様により多くのお越しをお待ちしています。

- 松林 巧 (50R) 支部長
HFDD01722@nifty.ne.jp
- 国安院 章良 (55A) 事務局長
a-kokuain@refocs.co.jp (勤務先)



松林 巧



国安院 章良



昨年の第10回支部総会において、支部長を務めることになりました。よろしくお願い申し上げます。交流会は8月とAITオープンフォーラム開催時と12月の年3回です。12月は、支部会員を講師とした「支部講演会」を開催します。昨年の「第3回支部講演会」は竹田昌治事務局長が講師を務め、今年度は愛工大OBで技術士(建設部門)の小泉雅弘氏(59D)を講師に迎え、支部講演会、懇親会を開催します。県内に在住の皆さん、交流会へのご参加をお待ちしています。

- 大石 邦仁 (47C) 支部長
k-ohishi@kzf.biglobe.ne.jp
携帯: 090-3307-2308
- 竹田 昌治 (42E) 事務局長
tkhf1989@m18.alpha-net.ne.jp (勤務先)
携帯: 090-8325-3778



大石 邦仁



竹田 昌治



長野県支部は発足したばかりの支部ですが、目的・意義を明確にしながら信州の同窓生が「郷土」「学科」「年代」「業種」「個々」の横のつながりと大学側とのつながりがもてるように、懇親会など企画して参りたいと思います。青春時代、愛工大で学んだ同志というだけで親密感を抱きます。まずは愉しく出逢いを大切にしながら、支部のネットワークを広げて、可能性を見つけていきたいと考えております。

- 熊谷 弘 (H6K) 支部長
kumagai@lics-net.com (勤務先)



熊谷 弘

上下水道コンサルタントとして全国を飛び回る

楽しい思い出ばかりの学生時代

「インフラ整備に関心があったので土木を目指しました」と話す伊藤さん。愛工大を選んだのは、当時は珍しかった大型振動実験装置があり、それに興味をもったからだと言います。

「地震のメカニズムなどについて研究する防災研究室に入り、装置を使えると思ったのですが、実際には触れる機会もありませんでした。ただ、卒業研究は楽しくて、地盤の振動特性を解析するため知多火力発電所に出かけ、ノイズを避けて深夜に計測をしたのはいい思い出です」。

土木のコンサルタント会社へ就職

卒業後、農業土木、上下水道、河川など社会資本整備全般における計画・設計・調査を行うコンサルタント会社に就職。顧客の9割は国や地方自治体で、伊藤さんの専門は上下水道のコンサルティングです。

「設計をして終わりという仕事ではないので、お客様からヒヤリングをし、設計に生かし、そのコンセプトをご理解いただけるように説明しなければいけません。そのためには自分の中であらかじめ話の内容を組み立ててから、説明することが重要とか。近年では、お客様に納得いただいてから、工事を担当する各企業者への説明も大事な仕事になりました」。

インフラ整備では、建設コストと維持管理コストの両面から考える必要があり、単に初期費用だけでは判断できない難しさもあると言います。「例えば、鋼管は防錆として定期的な塗装等の管理が必要になるので、建設コストが高くても定期的な管理が不要となるステンレス鋼管を使いランニングコストを抑える提案もします」。

お客様からの信頼が仕事のやりがい

入社20年後に上下水道部門の技術士の資格を取った伊藤さんは、国家資格があることでお客様の対応や信頼も違うと言います。さらにその5年後には、仕事をしながら日



「海上の杜技術士会」設立総会



コンサルティングをした現場

伊藤 久也さん
(58D)
株式会社
日本水工コンサルタント
取締役執行役員

本大学で生物資源科学の博士号を取得。論文が公開されているので、それを見て相談や依頼が来ることもあるそうです。

「自分個人の信頼が他の社員や会社の信頼にもつながりますので、即答できない質問内容には徹夜してでも調べて回答し、期待に応えるようにしています」。若い人達にも、「手をあげれば自分に跳ね返る」「努力したことは無駄にはならない」ということを伝えたいと言います。

仕事を左右するのは経験と人材

取締役になり、社長から「全社の上下水道を見てくるように」と言われ、繁忙期には1週間のうち半分以上は出張で全国を飛び回っているという伊藤さん。

「学生時代に土木は経験工学だと教えられましたが、その通りです。新しいことを踏まえつつ、常に方向性が間違っていないかを探りながら、実績を積む大切さを実感しているとか」。

「電気基盤の仕事に携わっていた父からは紙と鉛筆だけで仕事をしていると言われましたが、この仕事は人が原資です」。個々の技術力やパフォーマンスが上がれば受注も増えるので、人材が全てだと伊藤さんは話します。

海上の杜技術士会が有意義な場所に

愛工大を卒業して実社会で活躍中の技術士が参集した「海上の杜技術士会」に設立時から参加している伊藤さん。故大根義男先生の意思を継いで、奥村哲夫先生のご指導により、2011年に発足した会です。

年2回の技術研修会では講演もあり、情報交換や意見交換の場になっています。「会で知り合った方には厳しいご指摘をいただくこともありますが、アドバイスをいただけることが多々あり、技術力を高め、諸先輩の意見をお伺いするために有意義な会だと思います」。

「海上の杜技術士会」は、仕事上で助けていただけるだけでなく、精神的な面でも支えにもなっているそうです。

営業の第一線で新しい道を切り拓き顧客に応える

興味があった化学の分野に関わる

高校生の頃から化学に興味があった野村さんは、中部地方では工学部応用化学科のある数少ない大学の一つだった愛工大へ。「高分子化学」の研究をしていた山田英介先生のもとで卒業研究をしました。

卒業後、株式会社榎屋へ入社。1950(昭和25)年に塗料販売の商社としてスタートした同社は、米国のデュポンやスリーエムの国内代理店になったことから、自動車用の塗料や接着剤等を販売し、現在も自動車関連メーカーが主要な顧客となっています。日本各地と海外に営業拠点がある化学製品専門商社ですが、研究開発センターや工場もあります。「化学の知識を生かせるかもしれないという思いから研究職希望でしたが、営業部へ配属になりました」と野村さん。

営業の仕事にやりがいを感じる

自動車メーカーは、燃費改善や車体の軽量化、機能の追加など日々開発を進めているため、常に新しい提案をしつつ、安定した品質のものを供給していく必要があります。「お客様のニーズを聞き、適した材料を探して仕入れ、ときには自社で製品開発を行い、提案するという営業の仕事は、自分が考えたことがお客様にダイレクトに伝わり、やりがいがあります」。

入社7年目の頃、自動車部品メーカーの担当として責任ある仕事を任せられます。「課長交代に伴い前課長の仕事を引き継いだのですが、経験したことの少ないばかりで、同行した仕入れ先の営業の方からいろいろと学ばせてもらいました」。

新たに大型のプロジェクトを受注

30代に入り、既存の顧客ながら取引の少なかった部署へ提案をし、結果的に部材から設備まで丸ごと受注するという大きな仕事を成し遂げました。「同じ課の先輩、後輩や自社の研究開発部門、工場などの人間はもちろん、仕入れ先の協力も得て、半年という短期納品の要望に応えることができ、大きな自信になりました」。

入社10年を過ぎ、全体が見え始めた時期で、いろいろな人との面識もあり、人のつながりで仕事ができたと語る野村さん。営業という仕事にさらに大きな手ごたえを感じたそうです。「常にアンテナをはって仕事をするのが大切ですね。どこにどんなニーズがあるかわからないですから…」。

野村 真一さん
(63C)
株式会社榎屋
執行役員
第一営業部

出向して見えてきたことがある

入社して15年間、主に自動車部品メーカーの営業をしてきた野村さんに転機が訪れます。

「榎屋と一緒に売り上げを拡大したい」「製品をより深く知ってほしい」という要請を受け、仕入先である外資系材料メーカー名古屋支店へ3年間出向します。

「5年、10年先を見据え、プロジェクトチームを結成して新たなニーズを掘り起こす開発営業の仕方を新鮮に感じました」。仕入れ先への出向は、野村さんが初めてで、現在の6代目まで良好な関係が続いていると言います。

管理職として目標に向かう日々

出向先から戻った3年後に営業の開発室ができ、室長として5年間プロジェクト営業に携わります。既存顧客の深堀りだけでなく、新規顧客の開拓も必要な部署。「新規のお客様のところへ提案を持って行き、ニーズを探るのですが、かみ合わないこともあります。訪問を重ねることができたときは、受注の可能性を感じました」。

今日まで営業一筋で、2年前より執行役員として自動車メーカーを主な顧客とする第一営業部を率いている野村さん。「自ら営業に出向くことは少なくなりましたが、必要に応じて取引先へ挨拶に行くなど部下が仕事をしやすいような環境づくりを心がけています」。

野村さんは、自分の経験をどう伝えていくかを考えつつ、中期経営計画の営業タスク・フォースのリーダーとしても目標に向け課題を解決していく日々を送っています。



取り扱い製品が展示されたショールーム



打ち合わせスペースのある本社ロビー

1つの欠陥検出法に特化して 半導体材料の評価・分析をする

工学部電気学科 徳田 豊 教授



手法を使ってやった方がいいと思いますが、一研究室で全ての方法で行うのは難しいため、違う方法で研究をしている人達と結果を持ち寄り、正しい方向に導くという形をとっています」。

ガリウムナイトライドの 評価へ

10年ほど前からは、主な研究対象をガリウムナイトライド(GaN)とし、その評価・分析をしています。

ガリウムナイトライドは、青色発光ダイオードや、レーザーダイオードの発光デバイス材料として用いられています。

また、自動車にも使われるパワー半導体材料としても、ガリウムナイトライドが注目されています。「高耐圧、高温動作が可能なガリウムナイトライドの特性が、過酷な条件で使用される自動車用の電子デバイスに向いているということで、その開発が進められています」。

ガリウムナイトライドの研究には国家プロジェクトも多く、先生もその中の一つに参加しています。

学生達にはあえて試練を

研究室には4名の大学院生と10名の学部生がいます。

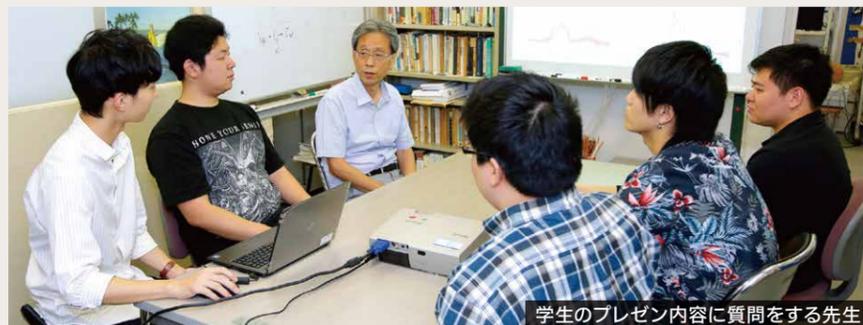
卒業研究は毎年できるだけ少しでも新しいテーマにし、問題解決能力を養うことを念頭に、1週間に一度は学生によるプレゼンテーションの機会を設けています。「学生達に様々な質問を投げかけ、あえて困難な状況を与えています。誰かに聞いて答えを簡単に導き出すのではなく、答えを探していく過程が重要だと考えているからです。もちろん、その答えは私にもわかりません」。

また、学んできた知識をフルに使うことができる能力を身に付けるのも卒業研究の一環です。「社会に出れば、開発のテーマやアイデアを出すことが求められるはずで、そのときに基礎知識が役に立つことがあります。自分の中にある知識を使い、足りない場合は知識を増やしながら対応していけば良いと考えています」。

卒業時に学生から「大変でした！」の一言があると良かったと思うとか。



ガリウムナイトライドの欠陥の分析をする様子



学生のプレゼン内容に質問をする先生

学生時代からシリコンを研究

半導体デバイスを開発するための評価・分析を行って40年以上という徳田先生。中でもパソコンに多く使われる半導体材料のシリコン(Si)については、長年、研究対象にしています。「シリコンはデジタルカメラに内蔵されているシーモスイメージセンサーにも使用されており、今日でも欠陥の研究は重要です」。

半導体材料は結晶成長時や、ダイオード・トランジスタといったデバイスの製造工程で欠陥が発生し、デバイスの特性に影響が出てしまいます。高性能なデバイスを開発するには事前の欠陥の検出とその理解、そしてその制御は欠かせないと言います。

1つの方法を使って深く追究

欠陥検出法には様々な方法がありますが、先生は電気的手法を用いたDLTS(Depth Level Transient Spectroscopy)法を主に用います。日本ではこの方法による評価・分析の第一人者です。学生時代の恩師と本を出版していますが、今でもこの内容が他の研究者達の手引きになっているそうです。

半導体の中の状況を調べるには、刺激(バイアスパルス)を与えて、はねかえる状況を検査します。「様々な

AIやスマートホンを使い 世の中に役立つシステムを開発

情報科学部情報科学科 菱田 隆彰 教授



す。雑談を続けるには、相手の情報が必要で、雑談をしながら相手の情報を取得するには会話の誘導が重要なポイントになってきます。そこで、相手の好む話題をふり、データを蓄積する誘導方法について研究をしています。

コミュニケーションを活発に

コンピュータネットワークとそのサービスについて研究をする菱田先生。AI(人工知能)やIoT(身の回りのものがインターネットによってつながる仕組み)などを活用した研究を行っています。

複数ある研究テーマの中でも実用化を目指しているのが、「作業・学習者の意欲向上を促す仕組み」。

人間は異なる部門間でたわいもない話をする事で、創造的なアイデアが生まれやすくなる事が示されています。また、ルーティン化した業務を行う現場ではコミュニケーションを活発にすることでストレス軽減にもつながると考えられます。

「スマートホンのアプリなどを使ってコミュニケーションの活発化を促せないかと、研究を進めているところです」。

AIと井戸端会議ができれば

「アマゾン・エコー」や「グーグル・ホーム」など、家庭用のスマートスピーカーに活用されているAI対話システムですが、これらは人の要望に応えるタスク志向型に分類されるものです。

それに対して研究室で進めているのは、AIを使った「雑談システム」で

「実際にシステムができれば、一人ひとりに合った話題でAIと会話ができるようになります。例えば、高齢者施設などでの活用が見込まれると思います」。

口コミサイトの新たな解析方法

実用化を目指している研究は他にもあり、口コミの中にある感情用語に特化して傾向を探る「口コミサイトの解析システム」です。

口コミに掲載されている★の数などで商品进行评估する場合、その基準はあいまいになりがちです。「より具体的な評価につなげるには、どのような評価軸がいいかを考えたときに、感情に着目するのがいいのではないかと思います」。感情には喜びや驚き、怒りなど多様性があり、全体像を把握するには感情用語が有効だとか。



大学院生の研究にアドバイスをする先生

共同開発したアプリで受賞

電子情報通信学会のセンサアプリケーションアイデアコンテストで、2016年にイノベーション賞を受賞した「アップルウォッチを使った電子広告」。先生と電気学科卒で技術職員の池田輝政さんが一緒に開発しました。

ショッピングモールなどで興味のある商品を見つけたときに、アップルウォッチが脈拍数の上昇を感知し、店に置いた送受信機がそれをキャッチして、アップルウォッチへ電子広告が送信されるという仕組みです。

「興味のある広告だけを受け取る方法はないか」と考えたのが開発のきっかけだと言います。

自律した人材を育成する

研究室には3年生10名、4年生12名、大学院生2名が在籍。モノづくりができるエンジニアやクリエイターを育てたいと、3年生のうちから挑戦させていることがあり、その一つが外部コンテストへの応募です。「対外的なルールの中で喜びや発見、失敗や反省をすることが重要です」。

指示待ち人間ではなく、課題を見つけ、スケジュールに乗せて実行できる人間になってほしいと願う先生。「そのためにもアイデアを実現するまでの一連の能力を研究室で育ててほしいと思っています」。



卒研のアプリ開発について学生と打ち合わせ

入試

同窓生特別入試で愛工大へ!

開学50周年記念事業の一環で始まった同窓生特別入試は、同窓生のご子息のために設けられた制度です。小論文と面接による選考が行われます。入学金の優遇制度もありますので、ぜひご利用ください。詳しくは入試広報課へお問い合わせください。

■スケジュール
[2019年度]

小論文・面接(口頭試問を含む)
工学部・経営学部・
情報科学部...10/27(土)

合格発表

入学手続

入学金...12/17(月)
指定書類・学納金等
.....1/10(木)

※検定料35,000円 11/5(月)

2019年度 同窓生特別入試 受験者データ

		男	女			男	女			男	女
電気工学専攻		●		機械創造工学専攻				経営情報システム専攻	●		
電子情報工学専攻				土木工学専攻				スポーツマネジメント専攻			
応用化学専攻	●			防災土木工学専攻				コンピュータシステム専攻	●		
バイオ環境化学専攻				建築学専攻	●●			メディア情報専攻			
機械工学専攻	●●			住居デザイン専攻	●			合 計		9名	0名

多彩な入試制度を
用意しています!

★早めの合格を目指すなら ▶ **推薦入試** (スポーツ推薦) (女子学生推薦) (一般推薦) 出願は10月からスタート!
★今からでも間に合う ▶ **一般入試** (下記日程) 1月以降の出願で受験できます。

■今からでも間に合う入試日程

※出願に関して、すべてメ切り消印有効です。

入試区分	入試の名称	出願期間	試験日	実施学部	試験会場	合格発表日
前期日程	一般入試	1/7(月)~18(金)	1/27(日)	全学部	本学(八草キャンパス・自由ヶ丘キャンパス)、一宮、豊橋、岐阜、四日市、津、浜松、静岡、富山	2/12(火)
	前期日程 A方式		1/28(月)		本学(八草キャンパス・自由ヶ丘キャンパス)、一宮、豊橋、岐阜、四日市、津、浜松、静岡、富山、金沢、岡山、松本、福岡	
	前期日程 M方式(マークセンス式)		1/29(火)		本学が課す試験はありません。	
	センター試験利用入試		センター1期C方式(3教科利用)		本学が課す試験はありません。	
後期日程	センタープラス	2/13(水)~23(土)	3/6(水)	全学部	本学(八草キャンパス)、豊橋、岐阜、四日市、津、浜松	3/14(木)
	センタープラスA方式		3/4(月)~3/8(金)		本学が課す試験はありません。	
	センタープラスM方式		3/4(月)~3/8(金)		本学が課す試験はありません。	
	センター試験利用入試		センター2期C方式(2教科利用)		本学が課す試験はありません。	
センター試験利用入試	センター3期C方式(3教科利用)	3/4(月)~3/8(金)	3/21(木)	本学が課す試験はありません。		

[入試に関するアレコレ、ここでチェック! ▶▶▶ <http://www.ait.ac.jp/nyushi/>]

2018オープンキャンパス開催!!



受付でパンフレットを配布



オープンキャンパス説明会



1人乗り電気自動車「コムス(HAVRec)」の展示



理工系ガール相談風景



自由ヶ丘キャンパス(個別相談)



自由ヶ丘キャンパスデモ

2018年7月21日(土)、22日(日)の2日間、八草と自由ヶ丘の両キャンパスで開催され、過去2番目に多い来場者(高校生2836名、保護者1249名、一般443名、計4528名)で賑わいました。

八草キャンパスの「オープンキャンパス説明会」の会場や、「入試相談コーナー」「理工系ガール専用ブース」「個別相談コーナー」などでは、熱心に話を聞く高校生や保護者の方々の姿が見られました。女子高校生の質問に現役の女子学生がマンツーマンで応える理工系ガール企画のコーナーも大盛況。恒例となった「女子学生パネルディスカッション」で多くの観客が女子学生の発言に耳を傾けました。

また、実際に各学科・専攻の内容や研究の様子などがわかる「専攻デモンストレーション」は、八草キャンパスでは69のテーマで、自由ヶ丘キャンパスでは12のテーマで実施されました。八草キャンパスでは、「遠隔操縦付き自動運転車」をテーマに改造したコムス(HAVRec)の展示も行われました。

高校生や保護者だけでなく、地域の方々にも開放しているオープンキャンパスですが、自由ヶ丘キャンパスにある経営学科は「地域創成」をテーマに近隣の商店街と連携した企画展示をしたり、子ども向けのイベントを開催したりするなど、地域に開かれた大学の雰囲気に来場者の方々からは好印象の感想が聞かれました。

入試に関するお問い合わせ 愛知工業大学・入試センター TEL 0120-188-651(入試広報課) FAX 565-48-0024 e-mail jshi@aitech.ac.jp

就職

キャリアセンターは様々な支援をしています!

入学時から卒業後まで、学生の成長をサポートするのがキャリアセンターです。早い段階から仕事のイメージをつかめるように指導しています。同時に卒業生向けの支援も行っています。また、就職をする側を支援するだけでなく、企業様に個別に学内ブースを提供して説明会を開催していただくなど求人活動にも協力しています。

主な就職支援プログラム

- 就職ガイダンス
- 就職力向上講座
- 企業研究セミナー

インターンシップを経験して

インターンシップ制度について▶在学中に企業で就業体験を行うことで将来のことを具体的にイメージできる機会です。



堀 杏津実さん 鈴木 俊吾さん 村上 舞さん
機械創造工学専攻 土木工学専攻 建築学専攻

内定先	インターンシップ先
堀さん 豊田鉄工(株)	(株)イナテック
鈴木さん 西松建設(株)	西松建設(株)
村上さん (株)竹中工務店	清水建設(株)

インターンシップで経験したことは?

鈴木:工場用地の造成をする会社に行きました。現場を見たことがなかったので、学ぶことが多かったです。資格試験の受験にも役に立ちました。

村上:土木と同じで建築も実際のものを見る機会は少ないので、コンクリート打ちの現場を見て感動しました。業界への理解も深まったと思います。

堀:鋳造を体験してもらい、興味をもちました。

就職活動に活かされましたか?

堀:候補になかった業種を経験し、会社選

びの幅が広がりました。

鈴木:現場に協力会社の人もいて多くの人から情報を得ることができました。行った会社の志望動機は具体的に答えることができ、面接で余裕をもてたのも良かったです。

堀:工場など現場を見ないままに一次面接に通っても不安が残りますが、インターンシップ先は安心して次の段階に進めます。村上:人事の人に顔を覚えてもらっているのも有利だと思います。

就職先を決める上で役立ちましたか?

村上:8社にインターンシップに行き、4社を受けたのですが、業務内容だけでなく会社の雰囲気を見て判断できたのは良かったです。

鈴木:決め手になったのは協力会社への対応や雰囲気の良さですが、その場に行かないとわからないと思います。

堀:就職先はインターンシップ先ではない



ですが、行った先の会社内容と自分の条件を照らし合わせて、比較検討することができました。

キャリアセンターについてどう思いますか?

鈴木:インターンシップの手配はもちろん、エントリーシートの書き方も相談できて良かったです。

村上:予約の必要な大学が多い中、予約不要で相談ができるのは助かります。

堀:他大学の学生に聞いてわかったのですが、就活対策が早いのでゆとりをもって準備ができたと思います。

鈴木:インターンシップへの参加率も他大学に比べ高いと思います。

皆さん口を揃えて「インターンシップはメリットが多いので、ぜひ、行ってほしい」と言います。

インターンシップの受け入れが進む

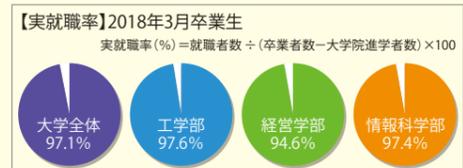
インターンシップの活用が進み、2018年度夏季は587名の学生が参加し、受け入れ企業は361社でした。その中の1社、川北電気工業株式会社様には、実施当初の5年ほど前より愛工大生を受け入れていただきました。「建設業(電気工事)の楽しさ、やりがいを知ってほしいので、8月下旬の2週間、学生を受け入れています」。採用にもつながり、手ごたえを感じているそうです。

インターンシップ受け入れ先を募集しています!

インターンシップへの参加を積極的に推進しており、具体的な進路に対する考えを深める機会と考え、キャリア教育の一環として位置付けています。ぜひともインターンシップ制度における学生の就業体験へより多くの機会を与えてくださいますよう、お願い申し上げます。詳細については、下記インターンシップグループまで、ご連絡をお願いいたします。

2017年度就職実績について

愛知工業大学は、2017年度も97.1%と高い実就職率を誇っています。これは、全国でも3位と極めて高い数字です。(卒業生数1000人以上の全国240大学の実就職率ランキング:サンデー毎日2018年8月5日号より)



瑞若会主催の学内企業展を開催

在学生への就職支援の一環として、瑞若会では2010年より学内で企業展を開催してきました。現在、全学年対象のイベントとして定着しています。

2018年度は、5月19日(土)に開催し、午前の部には24社の企業と62名の学生が、午後の部には22社の企業と41名の学生の参加がありました。

【業界職種研究会開催のお知らせ】

2018年度、新たな取り組みとして、2月14・15日に「瑞若会 業界職種研究会」を開催する予定です。就職活動を直前に控えた学部3年生及び大学院博士前期課程1年生の学生を主対象とした企画で、準備期の仕上げとして自身の軸を定め、3月から始まる学内企業展がより有意義なものになることを期待しています。

一括で求人票の登録ができます!

卒業生の方が求人検索を利用できます!

詳しくは「卒業生就職支援」のページをご覧ください。

WEB求人登録システム

URL <http://www.kyujin-navi.com/uketsuke/>

既卒者求人検索

URL <http://www.ait.ac.jp/career/center/>

就職に関するお問い合わせ キャリアセンター TEL 0565-48-4655(直) FAX 565-48-6140 e-mail jusyoku@aitech.ac.jp

インターンシップのお問い合わせ キャリアセンター・インターンシップグループ TEL 0565-48-4680(直) FAX 565-48-6140 e-mail jship@aitech.ac.jp

関西支部報告

支部総会を開催しました

去る7月7日(土)、前日の西日本の記録的豪雨で交通網がマヒ状態となる中、運行の再開を期待して関西支部総会を予定通り開催しました。残念ながら運休が続いた地域の1名が出席できず心苦しい思いをしております。

総会は本部から水野勝教副会長(63R)、北川一敬事務局長(H2M)、宇田秀樹事務局長次(55E)、内田敬久事務局長次(H7R)をお迎えするとともに、情報科学部の伊藤暢浩教授に「人工知能とRoboCup」というテーマでの講演をお願いし、総勢22名での開催となりました。

早いもので関西支部は1989年3月26日に大阪市北区のエスカイヤ・クラブで設立総会を開いてから来年で30年となります。今後とも卒業生の親睦の場を提供できるよう努めて参ります。



支部長 藤田 隆 (52E)

有志同窓会報告

50年ぶりの再会
幕末の英雄代官に学ぶ旅路

突然大きな声が響き合った人気のない改札口。卒業以来50年近く会えなかった仲間達が再会したのです。手を握り合い、肩をたたき合い、元気が、元気かと何度も声をかけ合う劇的な場面に交り、愛工大の卒業生で良かったと思えました。いい出会いだった、友はかけがえのない宝だと、人生の醍醐味を感じる瞬間でした。

新幹線三島駅南改札口で再会した我ら7人(関東と名古屋のグループ)は、伊豆温泉旅行に出かけるために集合したのですが、この旅行の発起人でもある元足利高校電気課主任、世取山正さん(45E)のおすすめで明治日本の産業革命遺産として2015年に世界遺産に登録された葦山反射炉を見学してから温泉地へ向かうこととなりました。

葦山反射炉は幕末の代官、江川英龍(ひでたつ)が手がけた溶解炉です。英龍はペルー来航の12年前に中国がアヘン戦争で悲惨な状態であることを知り、日本も危ない、植民地にされてしまうと危機感を抱き、軍備の近代化が急務である、敵艦まで届く大砲を作るべしと幕府に意見書を出し鉄製の砲を作る提言を何度も行ったのですが、製造の許可は出ませんでした。提言を続けること12年、黒船来航騒ぎでやっと危機感を抱いた幕府から製造の許可が出て、英龍は全私財を投じて僅かな資料、少ない情報で何度も何度も失敗を繰り返し、親子2代にわたり挑み続けました。完成できた大砲はたった2台のみですが、日本を狙う諸外国に与えた影響は大きく、葦山代官江川英龍の情熱は日本を救ったと言っても過言ではありません。

我ら7人平和な日本にノホホンと生き、知らないことがあまりにも多いと感じ、チコちゃんに叱られる思いで幕末の代官に学び、日本人としての誇りと勇気をもらい、いつまでも心に残る旅路となりました。

関東と名古屋のグループの合同旅行は今回が初回で、今後毎年行います。参加ご希望の方は卒業年度、卒業学部にごかわらず、代表幹事までご連絡ください。

連絡先:090-2266-5880平松秀和(45E)

45卒有志代表



三重県有志の同窓会に参加して

三重県にある湯の山温泉で、三重県地区の集いAIT・BB(愛知工業大学・ボケ防止の会)が開かれました。10年以上続いている上、ボケ防止の会というだけあって、楽しい集まりでした。

「化粧品を始めましてねー」と、私が湯けむりの立ち込める洗い場で体を洗い始めたとき、隣の方に話しかけられました。振り向けば吉原和之さん(45R)で、ほんの10分ほど前に幹事さんから紹介を受けたばかり。電子機器製造、人材派遣など幅広く営む東洋テック(株)の社長さんでした。電子機器とは全くの異業種である化粧品業界へも抵抗なく入り込める柔軟な思考の方です。その後の宴会で聞いた、女性の美に対する憧れについての説はまことに説得力があり、全員が感心して聞き入りました。

この会には他にも立役者がたくさんおり、増谷和光さん(44E)もその一人。この会が長く続くようにいろいろな意見を出してくださり、深い人間愛を感じる方であり、宴会の後のカラオケの会で人生を唄う歌声はプロかと思うほど。コンパニオンの二人も交え、それは楽しいひとときでした。

「今後は名古屋のメンバーとも合流して交流の輪を広げたい」と幹事の伊藤正明さん(45E)は言っておりますので、参加ご希望の方はぜひ、ご連絡ください。

連絡先:090-8951-1389伊藤正明

45卒有志代表



建築学科同窓会報告

愛知工業大学建築学科創立50周年記念会開催

2018年10月13日(土)17:00~19:00に建築学科創立50周年の記念会がAITプラザで開催されました。来賓、OB教員、一般(企業)、教員、事務・技術員(OB含む)、学生、職員ら139名が参加しました。

記念会に先立ち、3年生有志の学生の案内による学内ツアーを開催し、八草キャンパスの新施設の新2号館やセントラルテラスなどを見学しました。途中、グランドギャラリーに展示されたご自分の図面*を見つけて感慨にふける同窓生も見られました。

山田和夫学科長(49A)の開会挨拶に続き、来賓の山田英介副学長(46C)、伊藤雅瑞若会副会長(59K)、佐藤治後援会副会長にご挨拶をいただき、梶田光太郎不器会(建築系学科同窓会)会長(52A)の乾杯でスタートしました。



山田学科長の挨拶



にぎやかな雰囲気会場



学内ツアーでキャンパスを見学

OB教員の成瀬治興先生、尾形素臣先生、松本壮一郎先生(46A)達より学科創設時からこれまでの逸話やできごとをご紹介いただき、思い出話に花が咲きました。また、イベントとして不器会会長に加え、国安院章良副会長(55A)、大塚良孝副会長(52A)による抽選会が開催され、景品が当たると大きな歓声があがりました。記念会に協力した学生には、不器会から製図道具の進呈もありました。

最後に、瀬古繁喜副学科長より閉会挨拶をいただき、盛況のうちに幕を閉じました。

野澤英希(H2A)

*保管図面は近く処分予定のため、図面返却ご希望の方はご連絡ください。

2018年度 AITオープンフォーラム開催

第120回

2018年9月8日(土)
会場:岐阜グランドホテル
テーマ:ロボット技術に基づく人の動作アシストシステムの研究開発
講師:工学部機械学科 香川 高弘准教授

第121回

2018年9月15日(土)
会場:四日市都ホテル
テーマ:人口知能とRoboCup
講師:情報科学部情報科学科 伊藤 暢浩教授

第122回

2018年9月29日(土)
会場:ホテルクラウンパレス浜松
テーマ:デジタル折紙の建築デザイン
講師:工学部建築学科 宮本 好信教授

Pick up デジタル折紙の建築デザイン
講師:宮本 好信教授



「私は2011年に折紙に系統的に切目を入れて立ち上げる新しい立体造形手法を開発しました。これを使った立体紙造形映像はネット経由でたちまち世界中に拡散し、海外の折紙作家の推薦でオーストラリアのギャラリー、米国の美術館と大学図書館で展示され、シンガポールやフランスの美術書に掲載されました。工学理論については2014年と2018年に折り紙の科学・数学・教育国際会議6OSME・7OSMEで、建築への応用については2016年と2017年に国際空間構造会議IASSで発表しました。この立体化手法は様々な造形作品、デザイン製品、工学部品、建築物に応用可能で、一枚の紙から立体化する造形とそれらを建築や製品にする手法を映像と実物で紹介します」との切り口から、会場では配布された折紙を使って、折紙と建築がどの様につながるのか、中々聞くことができない大変興味深いお話がなされました。

「瑞若会特別賞」を授与

日頃の研究成果や活動を競う工科展は、10月6日に行われ、今年は34団体が参加。審査の結果、機械学科「奥川研究室」に瑞若会特別賞を授与しました。

また、11月7日に開催された第38回駅伝大会では、「仏恥義理ADERS(ブッチャーグリーダーズ)」「競技スキー部レディース」「洋弓部1」の3チームに瑞若会特別賞を授与しました。



工科展で瑞若会特別賞授与



駅伝大会で瑞若会特別賞授与



学内で開かれる恒例の駅伝大会

